



札幌市立澄川中学校 学校だより

響音

令和7年(2025年)3月25日

第14号最終号

<https://www.sumikawa-j.sapporo-c.ed.jp/>

第53回卒業証書授与式が終わりました

卒業式前日の13日(木)は、「お別れセレモニー」を行いました。在校生からは各学年、趣向を凝らしたお祝いのビデオメッセージや合唱を披露し、卒業生からも手縫いの雑巾を学校に寄付し、「旅立ちの日に」を、心を込めて合唱しました。そして、14日(金)の第53回卒業証書授与式。吹奏楽部の演奏で入場してきた3年生を、2年生が温かく拍手で迎えました。校長先生から力強く卒業証書を受け取りステージから降りてくる姿は大変立派でした。そして全体合唱は卒業生も在校生も涙を流しながらの感動的な場面となりました。保護者、御来賓の皆様からの温かい拍手の中、3年生183名が本校を巣立っていきました。

卒業生にとって澄川中学校で過ごした時間が、これからの人生の支えとなることを願っています。

令和6年度 修了式の言葉

校長 横道 幸紀

雪解けが進み、春の訪れを感じるようになった今日、令和7年3月25日をもって、令和6年度札幌市立澄川中学校における教育課程を終え、修了式を迎えることになりました。本日をもって、1,2年生の皆さんの上級学年への進級を認めます。進級おめでとうございます。皆さんがこの1年間で身に付けた力を存分に発揮し、さらに成長することを期待しています。

今年を振り返ると、生徒の皆さんが自分たちの力で様々なことにチャレンジし、そして成果を上げることができた1年であったように思います。1年校外学習、2年宿泊学習とそれぞれの学年が旅行的行事に取り組み、素晴らしい結果を残すことができました。今年、久しぶりに開催した合唱コンクールでは、どの学級も練習の成果を発揮し、素晴らしい歌声を披露しました。また、生活のきまりの見直しも、中学生らしさとは何かを真剣に考え、しっかりとした考えをもちながら話し合いを重ねることができました。

それらは、澄川中学校の生徒の皆さんが前向きにものごとを捉え、ねばり強く取り組むことができたからこそ成しえたことです。ぜひ次年度、2年生は最高学年の3年生として、1年生は中堅学年の2年生として、さらに飛躍する澄川中学校を創り上げてください。

明日から春休みが始まります。まずは、この1年間で学んだことをしっかりと振り返り、自分が頑張ったこと、それから頑張りが足りなかったことを整理してみてください。その上で令和7年度の目標を設定してください。目標があってこそ、結果が得られます。充実した1年のスタートに向けて、実りある春休みにしましょう。

始業式は4月8日です。9日には新入生も入学します。皆さんも新たな気持ちで、そして健康や安全に気を配り、心身ともに万全の状態、始業式を迎えてほしいと思います。

お世話になりました…本校を離任する教職員より

今年度は8名の教職員の方とお別れすることとなりました。保護者の皆様には、様々な場面でお力添えをいただき、心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

横道 幸紀 校長（南が丘中学校へ）

校長として4年間、教員として7年間のあわせて11年間、澄川中学校に勤務いたしました。この間、保護者の皆様、地域の皆様、そして何より生徒の皆さんに本当にお世話になりました。ありがとうございました。4月から特例任用校長として同じ南区の南が丘中学校で勤務することになりました。澄川での経験をもとに、さらに頑張りたいと思います。澄川の皆様の御健勝をお祈りいたします。

高橋 海弥 教諭（国語科 栄中学校へ）

3年間澄川中でお世話になりました。その間、卒業生を出すことができ大変嬉しく思っています。気持ちのよい挨拶ができる、素晴らしい生徒に恵まれ、澄川中での生活はとても充実したものになりました。充実した時間というのは一瞬のように過ぎていくものだと思いますが、その充実感を得られたのは他でもない、澄川中学校の生徒たちと保護者の皆様のお陰です。本当にありがとうございました。お世話になりました。

鶴間 琴音 教諭（理科）

初めて澄川中学校に来た時に、挨拶が元気で素敵な学校だなと感じたことを覚えています。今はその時よりもっとたくさんの方が明るく元気に挨拶をしてくれます。顔を上げている人も増えました。どんどん素敵になっていく皆さんと生活できたこと、また保護者の皆様、教職員の皆様に支えていただいたこと、感謝の言葉もありません。これかれからも健やかに過ごしてください。

石関 元 教諭（数学科 簾舞中学校へ）

教員生活で一番長く生活させてもらった澄川中学校とお別れすることになりました。8年前に3年生の担任として着任し、陸上競技会、学校祭、合唱コンクールとたくさんの思い出ができました。翌年、北海道胆振東部地震があり、ブラックアウトを経験し、その翌年から新型コロナウイルスが猛威をふるい、大変な状況でした。その中で6年間進路の仕事をしてきました。保護者、生徒、教職員の皆さんに支えられた8年間でした。卒業式の2、3年生の全校合唱がとても印象的でした。次の学校は全校で3学級なので、この学校での合唱の思い出をいつまでも大事にしていきたいと思います。8年間ありがとうございました。

山崎 健太郎 教諭（社会科 新陵中学校へ）

担任していた3年前の修学旅行は、コロナ禍による延期で異例の3月実施でした。楽しんで帰ってきたら、卒業式も学級閉鎖で延期になり、忘れられない5年間でした。今年は、合唱コンクールなどの行事で、1年6組の生徒や学級が成長していく様子を見て、思い出深いものとなりました。部活動では、エネルギーのある多感な生徒たちに私も全力で向き合ってきました。いろいろと至らないことも多くあったかとは思いますが、保護者の皆様のご協力により、ここまでやってこれました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

山田 雅丈 教諭（技術科 西野中学校へ）

赴任当初から生徒数が減ることなく、いまだ南区では隆盛を誇る澄川中に、九年間もお世話になりました。担任を久しぶりに持たせていただき、生徒指導担当時にはコロナ禍をみんなで乗り切り、そしてようやく学校が完全復活して軌道に乗るという、激動の九年間でした。学級でも学年でも、そして部活動でも、熱い子どもたちの想いに突き動かされ何とか続けられました。そして、保護者の皆様にも大変にお世話になりました。本当にありがとうございました。お元気で。

岡本 成美 教諭（特別支援 北都中学校へ）

短い期間でしたが、澄川中学校は札幌では初めての勤務校だったので、忘れられない思い出深い学校となりました。これからは、陰ながら生徒の皆さんの活躍をお祈りさせていただきます。生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の方々のお陰で、充実した日々を送らせていただいたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

大竹 綾 さん（学校司書 羊丘中学校へ）

このたび羊丘中学校へ異動となりました。澄川中学校での勤務はわずか2年でしたが、開館時や委員会活動、行事に授業と、成長してゆく皆さんと関わった時間が貴重で思い出深いもの感じられます。若い感性から学ぶことがたくさんあり、振り返ると皆さんはとても温かくて頼もしい存在でした。どうもありがとうございました。